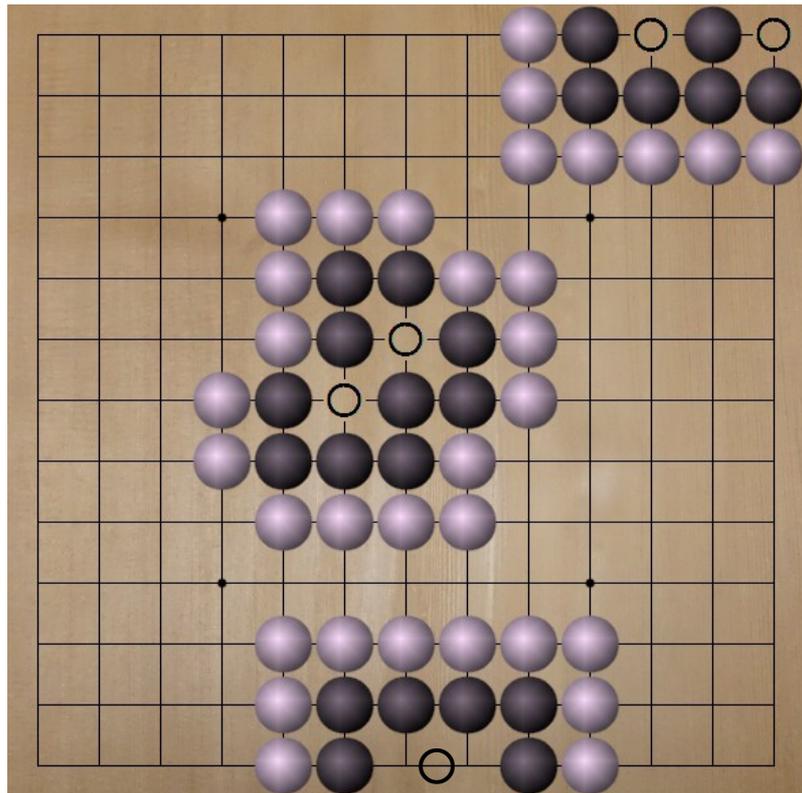


眼とカケメ

1 ㊦

1 ㊦

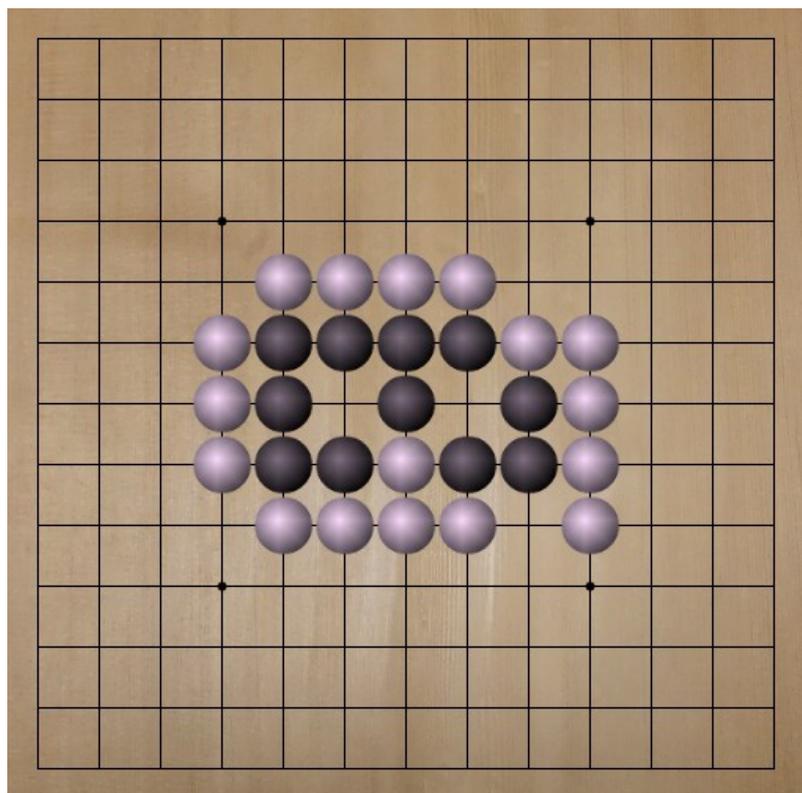
○のところは眼(め)です。
みぎうえの黒石と
まんなかの黒石は
それぞれ眼がふたつ。
白からうっても黒を
アタリ(あと1手でとるぞ!というかたち)
にすることができないのが
わかりますね。
こういったかたちは
『二眼(にがん)の生き』で
とられることはありません。
それでは、したの黒石はどうでしょうか?
これは大きな眼がひとつあるだけ。
白からアタリにすることができるので
生きていません。



2 ㊦

2 ㊦

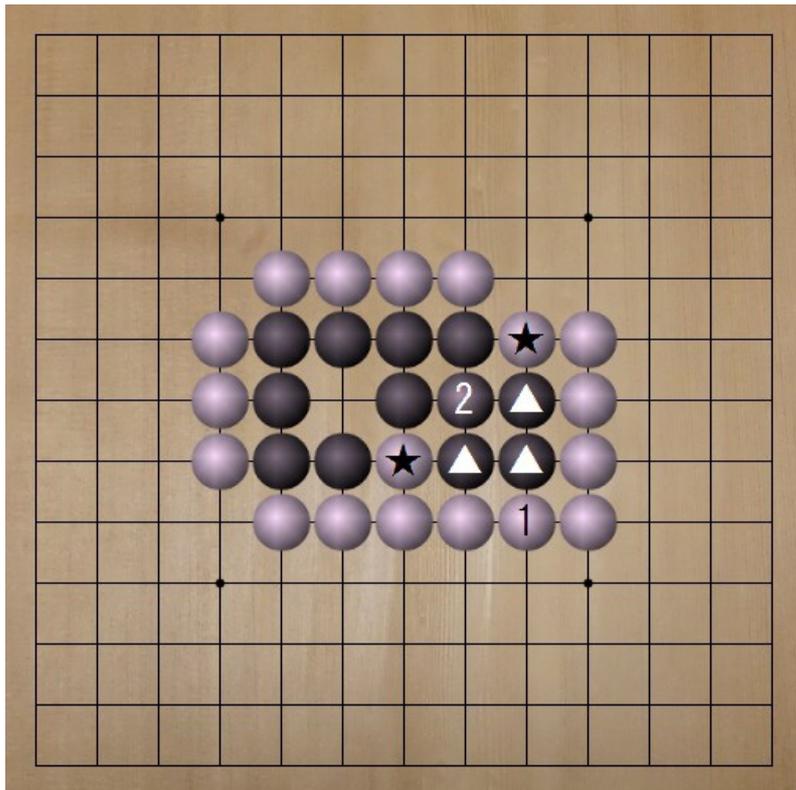
それでは
この黒のかたちは
どうでしょうか?
眼がふたつあるように
見えますが……。



3 ㊦

3 ㊦

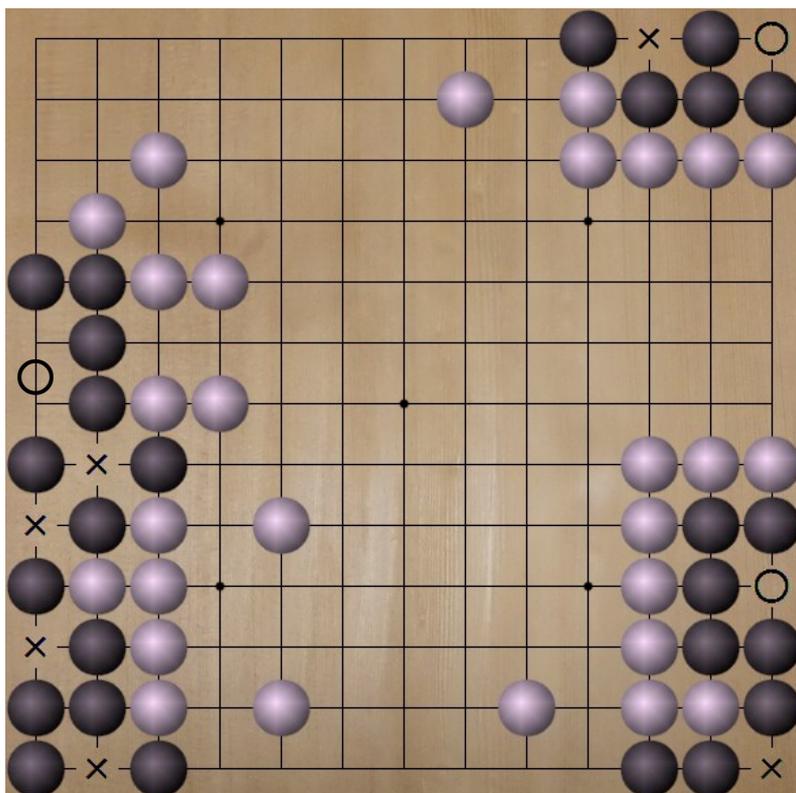
白1とうたれると
 △の黒がアタリ。
 黒2とつないだらアレ？
 眼がひとつになってしまいました。
 2 ㊦のみぎがわの眼は、
 ほんとうの眼ではなく
 カケメとよばれる
 にせものの眼だったのです。
 ポイントは☆の白石。
 このように、ナナメのところ
 ふたつあいての石があると
 カケメになってしまいます。



4 ㊦

4 ㊦

辺(へん)やスミの眼は
 ナナメのところ
 にひとつ
 あいての石があると
 カケメになります。
 ○は眼
 ×はカケメです。
 3かしの黒は
 それぞれ一
 眼しかなく
 生きられない
 かたちです。



眼とカケメ れんしゅうもんだい

なまえ：

もんだい①

うえの黒石は生きていますか？
したの黒石は生きていますか？

眼には○、

カケメには×をつけながら、

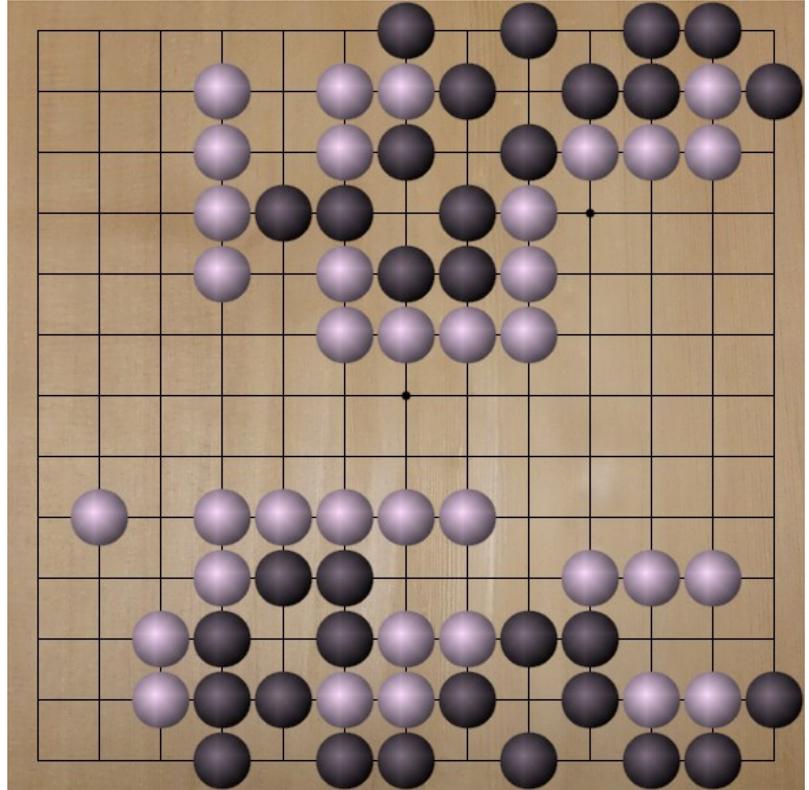
二眼あるかどうか

たしかめてみましょう。

うえの黒石：

したの黒石：

もんだい①



もんだい②

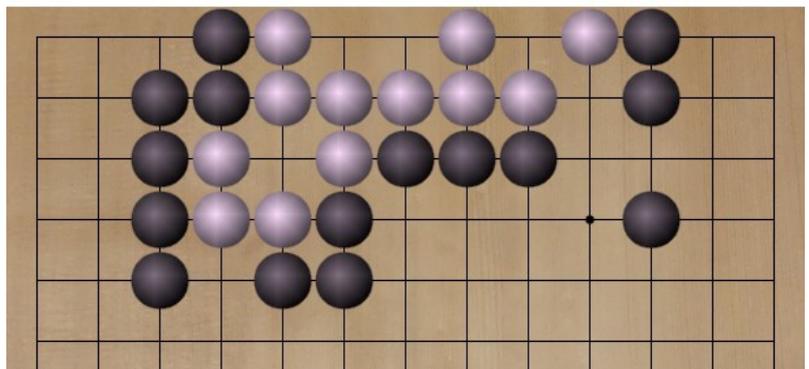
白に二眼をつくらせないためには
黒からどこへうちますか？

○をかいてこたえてください。

白からうてば眼になるところを
みつけて、

じゃまをしましょう。

もんだい②



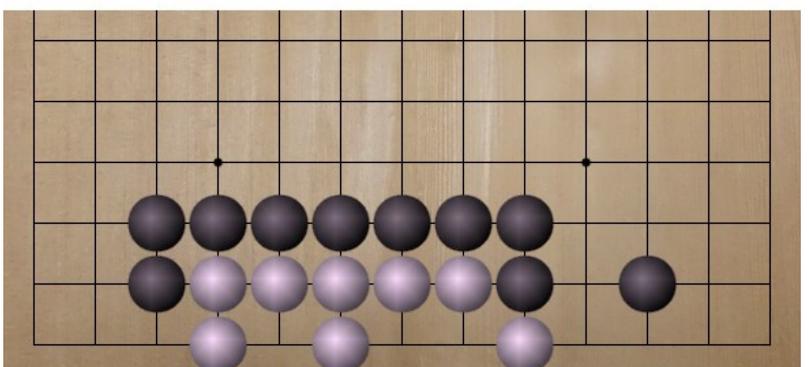
もんだい③

白に二眼をつくらせないためには
黒からどこへうちますか？

○をかいてこたえてください。

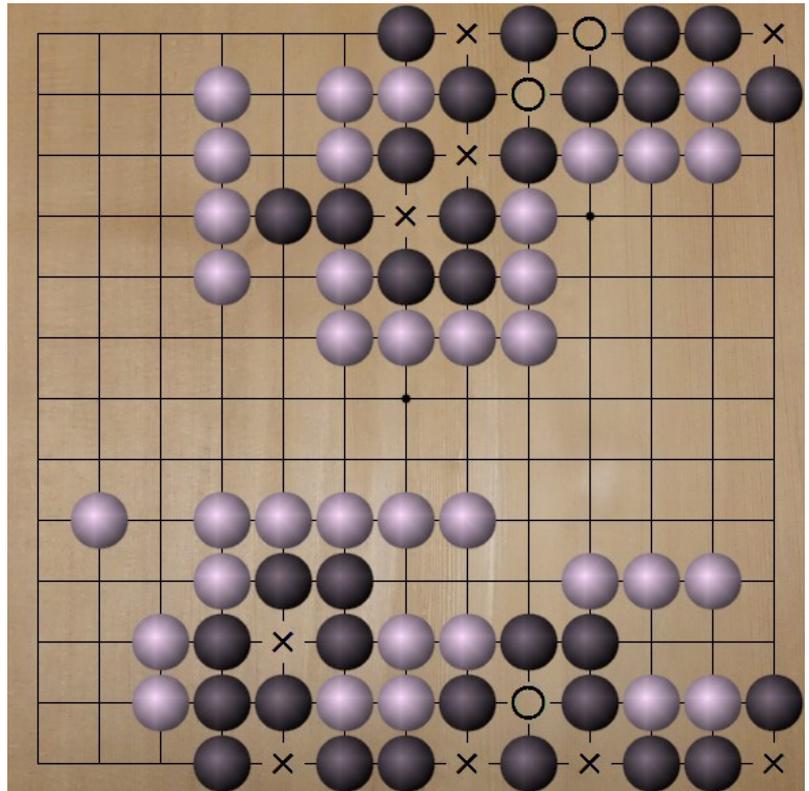
ひだりがわの眼はかんぺきですが
みぎがわはちがいます。

もんだい③



れんしゅうもんだい ことえ

せいかい図1



せいかい図1

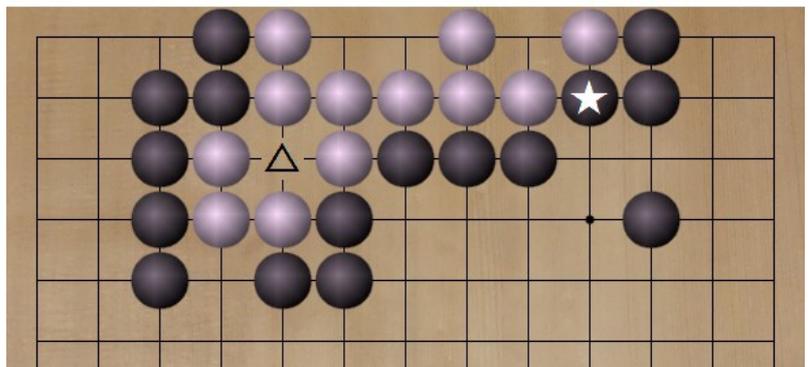
うえの黒は二眼あるので
生きています。

したの黒は一眼しかなく
生きていません。

せいかい図2

黒☆がせいかいです。
この手をうつことで
みぎの眼がカケメになります。
△はもともとカケメなので
白は一眼しかなく
生きられません。

せいかい図2



せいかい図3

黒☆がせいかいです。
白は△へ打てば
この黒石をとれますが
とったあとのかたちがカケメです。
ほかにどこへうっても
白が☆へうてば二眼の生きです。

せいかい図3

